

## 令和3年度第1回大津町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 議事録

- 【日 時】 令和3年6月28日（月）14時00分～  
【場 所】 大津町町民交流施設オークスプラザ 2階 ふれあいホール  
【出席者】 委員 12、随行者 1名、町側（事務局）5名

### ■次 第

1. 開 会
2. 委嘱状交付
3. 町長挨拶
4. 自己紹介
5. 議 事
  - ①委員長、副委員長の選任について
  - ②委員会及び議事録の公開について
  - ③人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の概要説明
  - ④今年度の策定スケジュールについて
6. 閉 会

### ■委員からの意見（概要）

- ・単に人口を増やせば良いというだけではなく、今の人口を維持しながら町の質を高めるとい  
う考え方もある。町としての方向性を示す必要があるのではないか。
- ・大津町は人口が増えているため人口増にこだわらず、いかに町内の質を上げるための総合戦  
略に特化しても良いのではないか。
- ・各施策の数値目標と、目標とする人口増とがどの様につながっているのかを注意しなければ  
ならない。
- ・人口ビジョンの将来展望の目標年度 2060 年と、総合戦略の各施策の数値目標年度が異なるた  
め、成果を見ることが難しい。成果を見るための目指すべき数値として短期の人口目標がい  
るのではないか。
- ・人口増は一つの結果であり、どのように主体的に町を活性化させるのかを考える必要があ  
る。
- ・総合戦略の施策や評価をもっと町民に情報発信するべき。また町民の声が届くような体制を  
整備して欲しい。
- ・施策の方向性をしっかり示した中で、“できること”、“できないこと”をはっきり示す必要が  
ある。理想的な話になりすぎて具体性がなくなるのもいけない。
- ・総合戦略の策定業務委託を発注する前に、現計画の評価と委託内容を委員会にて報告するこ  
と。

## ■会議結果

- ・委員長、副委員長を選任
- ・委員会及び議事録は公開することで可決
- ・現計画の評価、業務委託内容及び今後のスケジュールを整理し次回委員会にて報告

## ■出席者名簿

### 【委員】

熊本県立大学総合管理学部教授	丸山 泰	委員長
大津町教育委員会委員	津留 武芳	副委員長
菊池地域農業協同組合大津中央支所担当理事	大村 吉幸	
大津町商工会理事	吉武 千鶴	
大津町企業連絡協議会副会長	松島 嘉浩	
熊本銀行大津支店支店長	劔持 智哲	
肥後銀行大津支店支店長	西田 典正	
大津町区長会会長	家入 立身	
大津町男女共同参画審議会会長	小山 佳子	
公募委員	桑原 正浩	
公募委員	宮崎 悟一	
熊本県県北広域本部振興課長	増住 香織	

計 12 名

### 【随行者】

肥後銀行ソリューション営業部地方創生担当	上田 哲也	
----------------------	-------	--

計 1 名

### 【町側】

大津町長	金田 英樹	
総務部長	藤本 聖二	事務局
総合政策課長	木村 欣也	事務局
総合政策課審議員	濱洲 大輔	事務局
総合政策課地域づくり推進係長	田上 雄一	事務局

計 5 名

■意見・質疑応答内容

議事③人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の概要説明	
質疑・意見	回答・応答
今までの戦略で行った施策については100点満点のうちどれくらいの評価と考えるか。	現時点では100点満点には遠い状況と考える。
今日は現在の戦略の評価は提示しないのか。	今回は評価の提示までは予定していません。次回の会議にて新しい戦略の体系等を示す際に合わせて評価も説明する予定です。
基本目標は継続、施策以降は見直しとのことだが、戦略自体を大きくは変えなくて良いとの認識か。	これからの検討になるが、継続して行う部分はそのままとしつつ、新たに施策を追加しながら形作っていきたいと考えています。
評価については、目標指標にてチェックするということで良いか。	そのとおりです
一番の大元になるのは人口ビジョンになるのか。 人口ビジョンの目標に対して現状の見通しはどのようになりそうなのか、それを達成するための戦略であるという考えで良いか。	人口ビジョンで示した将来展望の値は現状の予定よりも多めに設定した数値となっており、そこに向かって各施策を行うこととなります。ただ、今の人口ビジョンの値も再度見直しを行い将来展望として適正な値を再計算する予定です。
平成28年に人口ビジョンを作った時の2021年度の目標は達成できているのか。	最初に人口ビジョンを策定した後において、人口は想定値を上回っている状況でした。その後人口ビジョンの数値を上方修正しています。
人口については順調に伸びているとのこと、全国的にも珍しく、大津町の特色ともいえる。	
総合戦略に掲載してある「大津Next Stageプロジェクト」とは何か。	「大津Next Stageプロジェクト」は施策の一つであり、まちおこし人材育成・活用を目的としたものです。
総合戦略を町民にPRなどはしているのか。	町ホームページへの掲載は行っているが、それ以外の周知は十分にはできていないところ です。
この委員会は人口増をするための話し合いをする場なのか。	人口増は最終的な目標ではあるが、人口や関係人口を増やすために町をどのように活性化させるかの施策についてご意見をいただくことが目的となります。

<p>単に量的な人口増だけでなく、質的にどうしていくかが大切だと思う。</p> <p>そのためには町民に施策や評価をPRして同じベクトルに向いていくことが重要である。計画倒れになってはいけない。</p>	
<p>現戦略の各施策の数値目標と、目標とする人口増とがどの様につながっているのかが気になるところ。今後はそのあたりも意識してみていかなければならないと思う。</p>	<p>各数値目標については、次期戦略を作る中で委員のご意見もいただきながら整理していきます。</p>
<p>人口ビジョンの将来展望の目標年度 2060 年と、各施策の数値目標年度の時間軸が異なるため、成果を見ることが難しい。成果を見るための目指すべき数値として定期的な人口目標はあるのではないか。</p>	
<p>ただ単に人口を増やせば良いというだけではなく、今の人口を維持しながら町の質を高めるという考え方もある。まずは町としてどの様な方向性で行くのかを示す必要があるのではないか。今の人口ビジョンの将来展望には意思が感じられない。</p>	
<p>そもそもなぜ現在の大津町の人口が増えているのか。また、なぜ今後も増える計画となっているのか。その分析はできているのか。</p>	<p>今までの工業誘致推進により、そこに勤務する方や関係する方、特に若い世代が入ってきており現在も人口が増え続けています。また、新築の一軒家を建てる際の費用や環境面も大津を選ばれる一因であると分析しています。</p>
<p>今後も企業誘致で人口を増やして行こうとするのであればそれを継続すれば良い。ただ、それでは単にベッドタウンとしての増加にしかならない。</p> <p>農業の話がでていますが、いかに地域内生産額を上げていくかといったところも考えていかないといけない。大手企業に頼った人口増ではこの会議が充実しないのではないかと思う。人口増は一つの結果であり、どのように主体的に町を活性化させるのかを考える会議にして欲しい。</p>	

<p>全国的には人口が減少しているのに、人口増が大きな課題となっているが、大津町はそこにこだわらず、いかに町内の質を上げるための総合戦略に特化しても良いのではないかと。そのようなところもこの委員会で議論できればと思う。</p>	
<p>今後、戦略策定や施策を行っていくにあたって、住民にとって分かりやすい情報発信や、もっと現場の方の声が届くような体制整備を行って欲しい（気軽に参加できるミーティング会の実施など）。</p>	
<p>戦略を作る中で、今後どのようにPlanやCheckを行っていくかの体制整理も一緒に組み込んでいくべき。</p>	
<p>次回以降の会議で施策の振り返りをする際には、実際の担当部署に参加していただき評価などを話していただくと議論も進むと思うのでぜひ検討していただきたい。</p>	
<p>戦略を作る際には、各課から出てきたものをそのまま載せるのではなく、庁内で連携してきちんと精査するようにお願いしたい。</p>	
<p>日本の人口は減る中で町の人口を増やすということは他自治体との競争となると思うが、大津町以外の自治体がどのようなことを考えているのか知りたい。他の自治体でも戦略は作られているのか。</p>	<p>県や他の市町村においても人口ビジョンや総合戦略を策定しています。</p>
<p>大津町だけ人口が伸びれば良いという話でもない。他自治体との関係も含めた中で大津町としてどのようなことに取り組むかも大事な議論かもしれない。</p>	<p>地方創生の目的は東京への一極集中の是正であり、政府も各自治体が総合戦略に挙げた取り組みに対して補助金を交付するとしてため、自治体によっては補助金をもらうための総合戦略となってしまっているところもあります。</p> <p>町の総合戦略を作るにあたり、そもそもなんでこの戦略を作らなければならないのかを整理し、地域の方とコミュニケーションを取りながら意味ある計画として形作ってまいります。</p>

	<p>今年度は、町全体の施策の方向性をまとめた「振興総合計画」の策定も予定しているため、連携して戦略策定に取り組んでいきます。</p>
<p>振興総合計画と総合戦略の位置付けはどうか。</p>	<p>振興総合計画は町が行う施策全体の方向性をまとめたものであり、対して総合戦略は地方創生に関する施策をまとめたものとなります。</p> <p>また、総合戦略は2060年という長期の人口目標をベースとしているのに対し、総合戦略は8年後の人口を基礎としているなどの違いもあります。</p>
<p>同じ内容であれば一つの計画で良いのではないか。きちんと町民に説明できるようにしておかなければならない。</p> <p>また、町の将来は一つしかないため、町として明確な将来ビジョンを統一し示しておく必要がある。</p>	<p>住民の方に説明できるよう、整理していきたいと思います。</p>
<p>施策をきちんと整理し、縦横をしっかりとしておけば分かりやすいものとなるし、各課の計画作りも楽になると思う。</p>	<p>それぞれの計画の期間が異なるため難しい部分もあるが、ご助言をいただきながら整理していきたいと思います。</p>
<p>今、施策の縦横をきちんと整理するという話があったが、今、同じことが企業にも問われているが、いくら整えても聞く側の質も伴わなければ難しいところがある。</p> <p>また、広くたくさんの意見を聞いたとしても、その意見をまとめ整理するのが非常に難しくなる部分もある。方向性をしっかり示した中で、“できる”、“できない”もはっきり示す必要があると思う。理想的な話になりすぎて具体性がなくなるのもいけない。</p>	<p>町の方も施策をまとめて計画を作る際に予算なども関係してくるため、バランスをとりながら進めていきたいと思います。</p> <p>また、いろいろな要望が来ても“できること”、“できないこと”が明確にできるよう、しっかりとした指針を示して整理していきます。</p>
<p>まとめることは大変だと思うが、一回きちんと整理して乗り越えれば、住民にも理解してもらえ、職員の仕事も楽になると思う。この委員会も建設的な意見が出せる場にしたいと思うのでよろしくお願いします。</p>	

議事④今年度の策定スケジュールについて	
質疑・意見	回答・応答
<p>今回の会議では現戦略の評価が示されていないが、評価を行わなければ次の計画の業務委託も出来ないのではないか。</p> <p>そもそも業務委託する必要があるのかというところもあるが、前回の評価を踏まえたうえで、どういう内容で業務発注するのか、少なくとも業務委託入札の前にこの委員会で報告して欲しい。</p>	<p>事務局としては、今後の戦略策定を進めるにあたり、現戦略の評価も含めたうえでの、サポート全般を想定した業務委託を予定しています。</p> <p>よって、現時点では本会議の後、7月に業者選定し、8月に契約するところで予定しています。</p>
<p>是非、業務発注の前に会議をもう一度実施していただきたい。評価の内容次第では、現戦略を継続するのか、又は新しく作り変えるのかも変わってくる。それ次第では発注する内容や発注先の業者も変わってくるはずである。</p>	<p>今の意見を元に、業務発注の前に検証の機会を設けたいと思います。</p>
<p>現時点で業務委託先は決まっているのか。現戦略を作ったときと同じ業者か。</p>	<p>前回戦略を作ったときに携わっていただいた業者はいるが、今回は継続ではなく、改めて業者選定を行うところです。</p> <p>振興総合計画策定においては、業者選定をプロポーザル方式で実施しますが、総合戦略においても、同様の方向性で検討します。</p>
<p>プロポーザル方式を行うのであればどのような評価基準でやるのかも当委員会で示していただきたい。</p>	<p>今日のご意見を踏まえたうえで、委員会の目指すべき方向性、どの様なことを委員の皆様にご担っていただくかを整理したうえで、今後のスケジュールと合わせて示させていただきます。</p> <p>また、業務発注におきましても内容を整理して報告します。</p>